

2012・広大マスタースズ市民講座報告

「風景画を楽しく学ぶ」

難波平人

講義内容

第1回	11月12日(月)	「風景画の歴史」	講師	金田 晋
第2回	11月19日(月)	「セザンヌの風景画」	講師	金田 晋
第3回	11月26日(月)	「現代の画家が描く風景画」	講師	難波 平人
第4回	12月3日(月)	「難波が描く風景画」	講師	難波 平人

第1回は、ヨーロッパの近代絵画史の1ジャンルとしての風景画の歴史を15世紀頃の成立期から印象派以前までを作品を提示しながら解説した。

1,風景画とはなにか 2,風景画の歴史 3,ルネッサンス 4,市民の風景画など

第2回は、セザンヌ直前、セザンヌの同世代の作品について述べた後、特にセザンヌ(1839-1909)の風景画について詳細に説明した。作品「オーヴェール首吊りの家」などの方法論、フォルム、傾斜性などに触れ、それらの作品をとおして、セザンヌの作品の歴史的意義を解明した。

第3回は、20世紀絵画の流れ(様式、主義、運動、芸術概念)を踏まえてフォービズム(ブラマンクなど)からマルティカルチュラリズムまでの風景画の歴史をそれぞれの作品を介して解説した。

第4回は、難波の作品をベースに制作者の立場から、風景画の表現の特質、画面構成の歴史上の変遷をのべた。さらに、画面の平面化、構図の原理、制作の理念と技法の一体化などについてワイエス等の作品で具体的に説明した。

会場：第1, 2, 4回は、市民文化センター研修室(サンスクエア2階)

第3回のみ、中央生涯学習センター会議室(元中央公民館)

時間：4回共、13:10-15:00

申込者：53名

受講者も多く、予定どおり終了することができました。

